





デフレイション攻撃

農村労力不足問題

十八日農聯總會

去る十八日伯國農業聯盟常例總會はマルシリオ・ベンチアード氏の司會の許に開かれたが、席上同聯盟の總裁フランシスコ・フェレイラ・ラモス氏が伯國今後の通貨政策に關じてインフレ政策の強調したことは頗る注目された。

氏は勞頭「咖啡を爲替」と題して他國の咖啡を壓縮して伯國の通貨を増進せしめるために咖啡の輸出を増進せしめることを決して正論を得たものでない、諸國の咖啡が一九二八年以降最近にかけて約三十ホルセントの價格の下落を見てあるが、其の最近五ヶ月間の輸出量は一九二八一九年八・三六年一千俵、二九一三年八・三二年一千俵、二九二一年八・五四千俵、二一、二三年九、四四年二千俵、三一、三四年八・三八九千俵、三四五年八・二〇〇千俵、(推定)で三二一、三三年八・五四千俵後であるが、その他の年の價格の下落の範囲が全く反映してゐない。昨年度の咖啡輸出に見るに約一百萬俵を大宗とする限り、それが最も高値を取る最も利便な方法では、咖啡價格は通貨を膨脹せしむべきで、今日歐米各國の政策を採らぬ國はないとして英佛が引領し、殊に佛國は六十五億法郎五百六十億法に上り、今日は八百二十億法を算する。伯國は三百五十萬コントから三百萬コントと少さんとしてゐるのは時代錯誤でなく適當なる膨脹を行つて一定水准に咖啡價格を定めざるままである。

農村労力不足

其の輸出は八千萬乃至一億磅に上つた今日一袋一磅強の時に其の輸出額は三千六百萬磅である。すべて各々署名を集めつゝある、勞動力の盛衰は四月から七月までの間で此の間が最大時機

で本聯盟もそれが達成に努力さればならんと主張した。

聖州棉

輸出狀況

聖州棉の輸出は一月一日以降四月末まで二三、三三〇棉(三、八九二、三五〇キロ)であつた内州内輪二二〇五棉對外二、一二五棉、對外輸出は獨逸の一七、九二一、九九一、五〇九キロの筆一捆、英國、〇八三五、〇三五、四八七キロ、佛國八三、〇三一キロ和蘭六三、二九五キロ、瑞西二一七〇一キロ、日本八、八七八キロ米六〇一キロ、伯國州では聯邦府一九二、一九九キロ、サンタカナリ一、二、一九九キロ、サンタカナリ一、二、一九九キロであつた。

聖州棉

本聯盟總會

で本聯盟もそれが達成に努力さればならんと主張した。

の點で指摘されてゐる、一方補助相場を見るに砂九十一ミル(自由市場五十七ミル)公定相場で大々六十五%、三十五%の下落である平均七十九ミル七五〇レーベスとなり一片三三二レースとなる。歌

市は七十二ミルで歐洲の平均相場を八ミル方超えてゐる所で、これが奥地に行くと原棉で前月の四倍強に暴騰して居り、これは伯

市に於ては輸出されるこ云ふのである。(専此の點については六

十萬こぼり減、昨年の同収穫に比見たので差引前記の數字を見た際

五百五十三萬となるが此の平均収穫より多く遙かに少ないもので、

注目される、内米供給を除いたもの

が一千二百八十六萬九千こぼりで

これは本年一月の豫想に比して四十萬こぼり減、昨年の同収穫に比

して十八万四千こぼり減少である

収穫高よりも遙かに少ないもので、

これが奥地に行くと原棉で前月の四

倍強に暴騰して居り、これは伯

市に於ては輸出されるこ云ふ

のである。(専此の點については六

十萬こぼり減、昨年の同収穫に比

して十八万四千こぼり減少である

収穫高よりも遙かに少ないもの

が一千二百八十六萬九千こぼりで

これは本年一月の豫想に比して四十萬こぼり減、昨年の同収穫に比

して十八万四千こぼり減少である

収穫









